診断なら　２０２４新年号

－　目　次　－

◆ 新年のご挨拶：会長　渡辺淳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
◆ 活動報告
- ➢ 令和５年度中小企業診断士理論政策更新研修：理事 岸克行・・・・・・・・・・・・・3
- ➢ 大和高田創業塾２０２３：理事 本田秀継 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- ➢ 奈良県立図書情報館「体験学習会＆無料経営相談会」：会員 上野浩二・・・・・・・6
- ➢ 奈良活性化研究会：副会長 保延薦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- ➢ 中小企業診断士の日：副会長 保延薦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- ➢ 令和４年度「診断助言実務事業」：理事 戸森宣昭・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- ➢ 共通 EDI を入口とした中小企業ＤＸ戦略研究会：事務局長 渡辺武久・・・・・・・10
- ➢ 診友会開催報告：会員 原田高峰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

◆ ご寄稿記事
- ➢ 「頭がいいだけの銀行員はもういらない」という本を共著で執筆しました」
  ：会員 林大祐・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- ➢ 趣味で続けているアマチュアバンド「まほろば club」の 15 年の軌跡
  ：会員 泉浩司・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

◆ 研究会活動状況
- ➢ 企業内診断士研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- ➢ 共通ＥＤＩ推進研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- ➢ 奈良活性化研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

◆ 新入会員のご紹介（五十音順）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

新年のご挨拶

会長　渡辺 淳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震と、被災地支援に向かう海上保安庁の航空機と日本航空機の衝突事故において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、2023年は私の大好きなバスケットボールが注目を浴びた年となりました。井上雄彦先生の劇場版スラムダンクは、日本はもちろん中国や韓国でも旋風を巻き起こしました。また、バスケットボールワールドカップでは男子日本代表がアジア最高位となって、1976年のモントリオールオリンピック以来、実に48年ぶりに自力での2024年パリオリンピック出場権を獲得しました。私は幸運にも対フィンランド戦を沖縄アリーナの現地で観戦することができ、35年近く日本のバスケットボールファンを続けてきて見ることができた最高の景色でした。

この快挙を実現した背景には、バスケットボール男子日本代表のトム・ホーバス監督による、“Believe（信じる）”という言葉の存在が指摘されています。選手たちに信じることの大切さを伝え続け、目標を達成する能力を自らが持っていると認識する自己効力感を高め続けたことが、目標を達成することができた一つの要因と言われています。不利な状況になっても、自分自身と仲間を信じる力がチームを強くし、最終的には目標を達成することにつながったのだと思います。

私たち中小企業診断士も、またクライアントである中小企業においても、困難な状況や予期せぬ挑戦が訪れることはあります。そういう時こそ、自分自身を信じて、仲間を信じて、クライアントを信じることが、困難を乗り越え目標を達成する鍵になるのではないかと考えます。

もちろん、私たち中小企業診断士は、クライアントである中小企業の経営者や従業員が、自らを信じ、仲間を信じて、困難を乗り越え目標を達成するように伴走しなければならない立場です。“Believe（信じる）”という言葉を胸に、皆様と一緒に成長していくことができればと思います。

2024年が皆様にとって実りある一年となることを願っています。

本年もどうぞよろしくお願いします。

令和５年度中小企業診断士
理論政策更新研修

理事　岸 克行

令和５年度中小企業診断士理論政策更新研修を令和５年９月２日（土）と１０月７日(土)に開催いたしました。会場は例年通り大和信用金庫八木支店の３階大会議室です。今年の理論政策更新研修では「伴走支援」を取り上げ、２回とも第２講、第３講は伴走支援をテーマにいたしました。
私自身、近畿経産局の官民合同チームのコンサルタントとして昨年来伴走支援に従事していることもあり、業務を通じて得ることが多くありました。本研修を通じて少しでも日々の中小企業診断士業務にお役立ていただけたらという思いで設定しました。
旬のテーマでもあり、今年やっておかなければ来年なら遅きに失するとの感もありました。
１講目の新しい中小企業政策は、奈良県よろず支援拠点の友澤コーディネーターに依頼しました。主要補助金の採択支援では屈指のご活躍をされております。

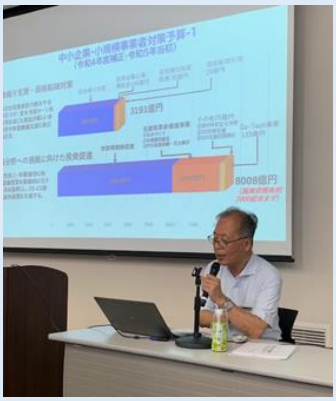
１回目　渡辺会長のご挨拶

２回目　保延副会長のご挨拶

・１講目

テーマ：新しい中小企業政策について

講師：奈良県よろず支援拠点　コーディネーター　友澤　利夫 様



友澤様

・２講目

テーマ：中小企業の伴走支援について

１回目講師：奈良県中小企業診断士会　理事　森　昭彦様

２回目講師：当会会員　伴走支援官民合同チームコンサルタント　西野　友浩 様

森理事　　西野会員

・３講目

テーマ：中小企業の伴走支援パネルディスカッション

モデラー：岸 克行

パネリスト：森 昭彦 様、奈良中央信用金庫 地域創生部部長 山田 章生 様

モデラー：岸 克行

パネリスト：西野 友浩 様、当会会員 阪本 翔太 様

左から　森理事、山田理事、岸

右から　西野会員、坂本会員、岸

本年度も無事に終了いたしました。

講師をご快諾いただいた皆様がた、受付からレジメ準備をいただいた診断士会事務局、役割分担していただいた理事の皆様がた、運営にご協力いただいた当日の受講生の皆様がた、そして毎年会場をご提供いただいている大和信用金庫様に深く感謝して終わりたいと思います。

大和高田創業塾２０２３

理事　本田　秀継

今年も大和高田商工会議所様より特定創業支援事業である「大和高田創業塾」の開催支援の依頼がありました。当会では、カリキュラムの作成と講師派遣で協力しています。

今回の申し込み者数は６名で、実参加者数は４名でした。少人数での開催ということもあり、参加者間の交流も活発で有意義な創業塾となりました。

内容としては、各参加者様の起業内容や事情に寄り添ったビジネスモデルの構築やプロモーション策の検討に重点を置きました。

日程とカリキュラム、担当講師は以下の通りです。

大和高田 創業塾 2023 カリキュラム

全５回

第1回	10/21 土 10:00～13:00	経営【創業のイロハ、事業計画作成のポイント、ビジネスモデル・キャンバスの検討】	森　昭彦 講師 / 中小企業診断士
第2回	10/28 土 10:00～13:00	販路開拓【すぐ役立つ実践マーケティング】	岸　克行 講師 / 中小企業診断士
第3回	11/ 4 土 10:00～13:00	人材育成【創業計画書・各種支援策、創業時の各種届出、人材育成、雇用の際の各種手続き】	森　昭彦 講師 / 中小企業診断士
第4回	11/18 土 10:00～13:00	財務【財務会計・インボイス】	保延　薦 講師 / 中小企業診断士・税理士
第5回	11/25 土 10:00～13:00	事業計画のブラッシュアップ	本田秀継 講師 / 中小企業診断士
		融資制度の説明	奈良県信用保証協会

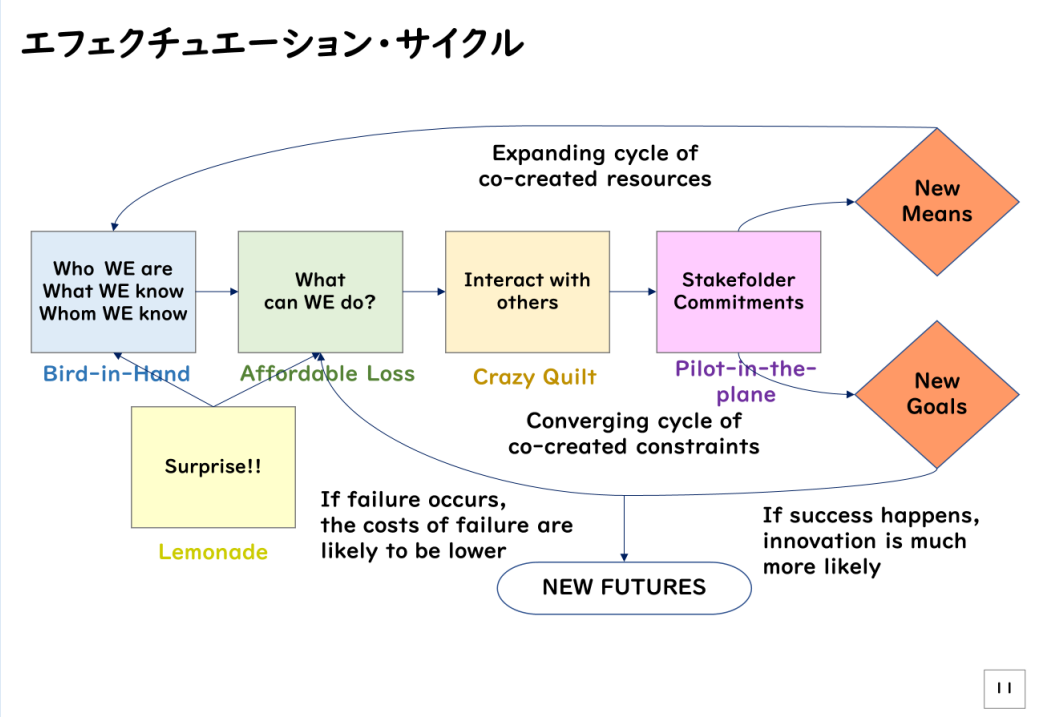
奈良県立図書情報館
「体験学習会＆無料経営相談会」
実施報告

会員　上野　浩二

企業内診断士研究会では、2013 年度より奈良県立図書情報館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会＆無料経営相談会」を行っています。今回は、11 月と 12 月に実施した内容について、報告いたします。

また 2024 年 1 月は、現在活躍中の女性起業家の方々をお招きし「起業家ミニ交流会～奈良で新しい仲間とアイデアを見つけませんか？～」を開催します！

2023 年 11 月 12 日(日)に、「優れた起業家の行動様式を学ぶ～エフェクチュエーションとビジネスモデルキャンバスで楽しくイメージ」と題し、会員の上野浩二氏が講義を行いました。この日は、テーマに興味を持たれた 2 名の方が受講されました。



講義では、前半で熟達した起業家の行動様式であるエフェクチュエーションを学び、後半で実際にアイデアをカタチにするワークショップを実施しました。参加者からは、普段使わない脳をフル回転して聞きました。知らなかったことを考えるきっかけになりました、と好評でした。

11 月に続いて 2022 年 12 月 17 日(日)には、「IE 手法の基礎知識を学ぼう！～ＩＥ(インダストリアルエンジニアリング）とは工場やお店の「工程」「作業」を分析・改善する手法です～」と題し、会員の谷村　幸治氏が講義を行いました。

講義では、実際に工場などで使われるＩＥ手法の考え方をていねいにお話し、様々な作業環境でも使えるコツを伝授してもらいました。

次年度も、上期（5 月、6 月、7 月）、下期（11 月、12 月、1 月）の計 6 回を開催する予定で準備を進めてまいります。日程やテーマ等決まり次第、図書情報館様のホームページやチラシなどでお知らせをする予定です。

2024 年 1 月 14 日(日)は、スペシャル企画として「起業家ミニ交流会」を開催します。
これまでの参加者からご要望の多かった参加者同士の交流や、現在活躍中の起業家の方の体験談を聞く内容となっています。

活性化研究会実施報告

副会長　保延薦

令和５年度は、地元の金融機関の方々を講師にお招きし、金融機関から見た最近の情勢、各金融機関の活動等について教えて頂きました。

具体的には、４月奈良県信用保証協会様、６月奈良中央信用金庫様、８月日本政策金融公庫奈良支店様、１０月南都銀行様、１２月奈良信用金庫様にご登壇頂きました。大和信用金庫様には、４月にご登壇頂く予定です。

いずれの回も、多数参加頂き、活発な意見交換ができました、大変ありがとうございます。また、１２月には、久々に懇親会もさせて頂き、会員間の交流を深めることができる楽しい時間を共有することができました。

令和６年度は、引続き地元の金融機関様にご登壇頂く他、奈良県弁護士会等の士業の方もご登壇頂き、懇親会も開催して連携を深めていくことを考えています。また、昨今の人手不足に対応するため、奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点様にもご登壇頂く予定です。

奇数月に開催する事業再生研究会とも連携しながら、少しでもお役に立つように頑張ります。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

中小企業診断士の日実施報告／副会長：保延薦

今年も、診断士の日である 11 月 4 日（土）19 時～19 時 30 分、ならどっと FM でラジオ放送を行いました。

出演者は、渡辺会長と、自分で手を挙げて頂いた西谷会員、諸会員、そして保延の４名でした。

不特定多数のラジオリスナーに対して、以下の内容の放送行い、中小企業診断士の地位向上等を図りました。

（１）中小企業診断士の概要等説明

中小企業診断士とはどんな資格であるのか、具体的にどんな役割を果たしているのか等について渡辺会長より説明しました。

（２）当診断士会の活動内容・活動計画について

奈良県での当診断士会の活動内容･活動計画や、今後の抱負等について渡辺会長より説明しました。

（３）会員の活動について

①西谷会員から、企業内診断士としての活動内容や診断士の資格が役に立ったこと、今後の抱負等について説明して頂きました。

②諸会員から、自分が考える診断士像、診断士としてのやりがい等を具体的な事例を交えながら話してもらい、今後の抱負等を説明して頂きました。

この放送が少しでも診断士の知名度アップにつながれば、幸いです。

令和５年度「診断助言実務事業」実施報告

理事　戸森 宣昭

令和５年度も、診断士資格更新要件の一つである実務従事ポイントを取得するための機会提供の場として「診断助言実務事業」を、田中道彦会員、清水和彦会員の指導のもとで、昨年９月～10 月において２コース実施しました。

今年度は、奈良県生駒市の建設・不動産仲介業と大阪府枚方市の靴下製造小売業を営む事業者様を診断先として、両コース合わせて５名の受講者参加のもと、日程通りに完了することができました。

受講者からは､｢実践的な診断手法を学べた｣｢事業者様に満足していただける報告会となった｣など、充実した実務従事となったことが伺える感想をいただきました。

指導員を務めていただいた田中道彦会員、清水和彦会員、参加いただいた診断士諸氏および診断先の事業者様に対し、本紙面をお借りして御礼申し上げます。

なお、令和６年度も例年通り９月～12 月の期間で実施する予定ですが、近年、受講者数が減少していることもあり、１コースのみ実施することを計画しております。

共通 EDI を入口とした中小企業ＤＸ戦略研究会

事務局長　渡辺　武久

共通 EDI 推進研究会は変わります。
「共通 EDI 推進研究会」は「共通 EDI を入口とした中小企業ＤＸ戦略研究会」に方向転換いたします。

当研究会は、２０１９年に ITC 協会が基本方針と基本仕様を決定し、普及を推進している「共通 EDI ツール」を、中小企業診断士がかかわっている小規模企業にまで普及させることを目的に発足したものです。現在まで、ITC 協会が主催し、年間数回開催される「共通 EDI サポーター連絡会」に主査渡辺武久が参加することにより、活動を行ってきました。
しかし、発足当時に目指していた「診断士版共通 EDI ツールを開発すること」までの活動にはいたっていません。ただ、ITC 協会にはその必要性をこちらから要請し、現在は ITC 協会の活動に取り入れられているので、共通 EDI という狭い範囲での活動は ITC 協会の活動にまかせることにしました。従って当会における研究会の目的は達成されることになるため、ひとまず、当会の共通 EDI 研究会は終了といたします。

いま中小企業において大きな目標としているのは、IT を駆使して企業経営に革新をもたらす「ＤＸ戦略」です。経営者は口を開けば DXDX と言っています。ところがその内容は千差万別、何がＤＸなのかひとそれぞれで異なるのが現状です。共通 EDI がその入口であることは確かですが、最近の日経コンピュータでの成功事例紹介をみると、その先が万人の認める成功事例かどうかあやしいものです。

ここで「共通 EDI を入口とした中小企業ＤＸ戦略研究会」が登場します。まず、ＤＸなるものをどうとらえるかを考えるテキストとして日経ＢＰ発行木村岳史著「アカンＤＸ」および日経コンピュータのＤＸ成功事例を精読し、中小企業診断士の立場でＤＸＤＸと叫んでいる中小企業経営者に、「あなたの会社のＤＸはこうなるはず」というコンサルのストーリーを成果物として作成します。この成果物をもって中小企業診断士の提案とすることを研究会の目標とします。目標に到達するまでに使用する手法は、私が開発してきたＤＴＣＮ手法を使います。この手法は中小企業診断の手法としても使えます。

２０２４年になりました。この区切りで新しい研究会をたちあげます。従来の研究会のメンバーは自動的に研究会に参加ください。新たなメンバーも募集します。募集の趣旨は上記のとおりとします。１月に準備をはじめ、２月に研究会を開始します。従来のメンバーには個々にメールを差し上げますので、参加をお願いします。それ以外のメンバーの募集は会員メーリングリストで行ないます。募集の文面は上記のとおりです。よろしくお願いします。

第３７回診友会開催報告
コロナ後３回目の「診友会ゴルフコンペ」

原田 高峰 会員

奈良県中小企業診断士会の年２回春・秋の恒例行事であります本年秋の「診友会ゴルフコンペ」は今回で３７回目となり２０１９年１０月を最後にコロナ感染拡大の為２年半の間休止していた本企画もコロナ騒ぎが落ち着きを取り戻した２０２２年１０月再開後３回目となりました。

本年は１０月１９日（木）にすこしプッシャーのきついレイクフォレストリゾート・ザ・センチュリーコースで開催いたしました。

今回の参加者は（敬称抜き）岩井、鈴木、橋本、原田、森村、分部の６名２組でのプレーとなり、栄えある優勝は分部様でグロス９７ハンディ２１．６ネット７５．４の素晴らしいスコアでした、２位には原田がネット７６で入賞しました。

今回もハンディは W ペリア方式のハンディ４０での打ち切りでハンディをゴルフ場に算出してもらいました。グロススコアは９７から１３１までででハンディを引いたネットスコアは７５．４から９６．２の成績でした、なおメンバー全員の平均スコアは１１３でした。

気になるプレー費は参加費賞品代込で９６００円（ロッカー代がプラス３３０円ロッカーを使わない選択もあり）一番気候の良いゴルフシーズンの平日プレーですからプレー費は高くなりますが総額１万円までに収まるように注力しています。

賞品は１位、２位、３位に豪華景品があり他入賞しなかった人には参加賞がありました。レイクフォレスト・センチュリークラブはフェアウェイもグリーンもきれいに整備された気持ちよくプレーできるゴルフ場です。このコースの良さは自然豊かさと平日であれば価格もリーズナブルなことです。緊急の場合のキャンセル料も平日の場合、前日までにすれば無料になることで幹事としてはありがたいコースとなっています。

また、今回は参加者が６名と少し少なかったのですが今後は少しでも多くの方に一緒に参加していただけるように工夫していきたいと思っています。企業内診断士の方も有休を活用して是非ご参加ください。

次回春のコンペは令和６年４月１６日（火）を予定しています。２月月初頃に正式案内いたしますので是非多くの方のご参加をお待ちしています。

次回のハンディは分部様 15.1 原田 18.2 橋本様 27.0 でその他の方はWペリア方式で最大は４０での打ち切り方式でハンディを算出いたします

「頭がいいだけの銀行員はもういらない」という本を共著で執筆しました

林　大祐
なりし価値起点イノベーターズ代表

【銀行員たちの自己変革グループ「SHIFT」で本を出版します】

今回は私が参加している「SHIFT」という全国から参加する銀行員等を自ら実践するリーダーに育成するプログラムで本を出版することになったので紹介させていただきます。私もリーダーの一人として執筆させていただきました。

【衝撃的なタイトル「頭がいいだけの銀行員はもういらない」】

2024 年 3 月に「頭がいいだけの銀行員はもういらない」という本を経済法令研究会から出版します。衝撃的なタイトルですが、対話型人材開発のプログラムだったので、タイトルを見た読者が「どんな銀行員が必要になるのだろうか？」と考えるきっかけになるのであれば、ありかもしれないと思いました。みなさまにも「銀行員」の所を「中小企業診断士」や「会社員」に置き換えて、どの様な中小企業診断士、会社員がいればイノベーションが起きるのかと想像していただきたいです。

【自分の価値観が分からないと自分軸は持てない】

私にとって自分の価値観を探すキーワードは「そもそも」でした。これを考えるきっかけになったのはシナリオプランニングをして将来どのような社会変革が起きる可能性があって、世の中の常識が変わった時に金融業界や銀行員に求められるものはどれほど変わるのだろうかという課題認識を持った時でした。そこまで考えを進めると、これから何を残して何を変えるべきなのかという「そもそも」を考える必要性に迫られたのです。例えば「そもそも」企業や組織の担い手がいなくなった時に個別の企業やサプライチェーンの支援だけをやっていても大丈夫だろうか？誰でもオンラインでつながった状況の変化を踏まえた新たな仕組みを作ることができそうだなどと次から次へとアイデアが浮かんできます。そうしたことを考える練習をしていると日々の変化に対して、そもそもこれは自分では解決できないので、気づいた課題認識を解決できる所に発信する行動を取るなど対処する力が上がります。また、つながりが増えるとその解像度が鮮明になって行きます。逆にそういった発想を持っていないと 10 年前の前例を前提条件が変わっているのに正解だと決めつけてしまい、問題をさらに拡大しかねないのです。

【中小企業診断士の可能性】

中小企業診断士のみなさんはご自身のバックグラウンドや関心が多様なので、診断士仲間達と交流される際に課題認識について対話すれば解像度が鮮明になるはずです。診断士以外のステークホルダーにも目を向ける様になると中小企業診断士の新たな可能性を発見できるかもしれません。

「頭がいいだけの銀行員はもういらない」目次

（変更される可能性があります）

はじめに　JPBV代表理事　江上広行

第1章　再定義される金融機関の人材開発
JPBV代表理事　江上広行

- あなたは、どうしていまの職業を選択したのですか?
- 「創造すること」と「問題を解決すること」の違い
- いきすぎた能力主義の弊害
- 「能力を高めることによって、結果がついてくる」は本当か?
- 人の成長には、水平方向と垂直方向がある
- バンクとバンカーの関係
- 価値を大切にする金融
- JPBVリーダーシッププログラム(SHIFT)が取り組んでいること
- 新しいタイプのリーダーの出現が待たれる金融業界
- 再定義される金融機関の人材開発にむけた5つの提言

第2章「再定義される人材開発」の用語辞典
JPBV代表理事　江上広行

- U理論
- 成人発達理論
- メンタルモデル
- プロセスワーク
- インテグラル理論
- IDGs
- システム思考
- クネビンフレームワーク
- 対話
- 「営業」と「ファシリテーション」
- ビジョン
- ポリヴェーガル理論

第3章　　リーダーたちのストーリー

- 私がSHIFTをはじめたワケ
  山口省蔵　金融経営研究所　代表
- 変革への実践ストーリー
  馬場貴裕　東邦銀行個人コンサルティング部
- SHIFTでライフシフトを実現させたバンカ
  林大祐 なりし価値起点イノベーターズ代表
- 私がSHIFTに所属している意味
  宮入則之
  株式会社ＤＴＧ ＣＦＯ・コンサルタント
- 山梨県における地域経済エコシステムの実践
  藤野 宙志　株式会社グッドウェイ 代表取締役
- 個人として思いを起こし、かけがえのない瞬間に向き合うこと
  栗田 亮　金融庁
- 自己変革ストーリー
  岩立顕一郎
- だから私たちはSHIFTする ～女子会対話録

むすびに　山口省蔵　金融経営研究所　代表

出典：https://deco-boco.jp/projects/view/57

趣味で続けているアマチュアバンド「まほろば club」の 15 年の軌跡

泉　浩司

今回、私が趣味として活動を続けているバンド活動「まほろば club」について紹介させていただく機会を頂き有難うございます。「まほろば club」は 5 人の音楽好きなメンバーが集まり、オリジナル曲を中心にライブ活動をしている平均年齢 61 歳のアマチュアバンドです。80 年代のフォークソングをイメージするような曲が多く、当時のヒット曲も演奏しています。

「まほろば club」の結成は 2009 年です。きっかけは大村（ボーカル）、岩井（ベース）、泉（ギター）が、当時勤務していた地元銀行の新年会で、「日経おとなのバンド大賞」というコンテストに挑戦しようという話が、お酒の勢いで盛り上がったことです。同じく地元銀行に勤務の山本（ピアノ）白杉（ドラム）が加わり、オリジナル曲「三十路のメロディー」という曲でコンテストに応募しました。応募 200 組の中から 14 組に選ばれ、「ビルボードライブ大阪」で開催された大阪予選会に出場しました。予選通過は出来ませんでしたが、この時のなんともいえない緊張感、これまで感じたことのないような高揚感が忘れられず現在に至っております。

その後も様々なコンテストやイベント、音楽フェスなどで演奏させていただく機会を頂き、ライブの回数は 100 回を超え、オリジナルも 20 曲近く制作しました。JR 難波 OCAT で行われた「あの頃サウンドコンテスト」でのグランプリ獲得、地元銀行の京セラドームで行われたイベントでのライブ、浜松市で開催されたフォークジャンボリーでのライブ、西宮芸術文化センターで開催された「にしきた音楽祭」でのゲストライブ、など分不相応な会場でのライブも経験させてもらいました。2022 年から新しいドラムの高野が加わり、今年でとうとう 15 年目を迎えることになりました。

もし、イベントでの演奏や各種団体の集まりでの演奏などご希望がございましたらお気軽にお申し付けください。器材等はすべてこちらで用意させていただきますし、出演料も無料で OK です。これまで会社や団体のパーティー、婦人会や老人会のイベント、養護施設での演奏などにお声かけ頂いており、ホテル・集会所・屋外など様々な会場での対応が可能です。これらの演奏の模様はユーチューブで配信しております。「まほろば club」で検索いただければご視聴いただけます。またグーグル等で「まほろば club」で検索いただけばホームページもヒットしますのでご覧いただければ嬉しいです。

2024 年の最初のライブは 2 月 10 日（土）18 時からライブハウス「奈良ビバリーヒルズ（奈良市花芝町２３）」でプロのオカリナ奏者　「喜多ゆみ」さんとの対バンライブです。是非遊びに来てください。下記までメール頂ければ招待券をお送りいたします。

イベントでの演奏やライブチケットのご依頼はこちらまで

mahoroba1962315@icloud.com

研究会活動状況

企業内診断士研究会

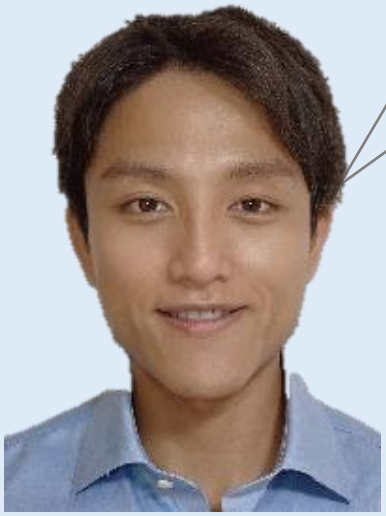
活動の魅力	奈良県図書情報館という知的で落ち着いた空間で、ご自身の研究や経験を活かした体験ができます。「奈良のため」、「次世代のため」、その知見を最大限発揮してみませんか？
会員数	14 名
開催頻度	体験学習会＆無料経営相談会を年間６回企画実施
入会申込み先	代表　上野浩二 effectuation007@gmail.com
活動内容	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を行っている。2013 年度より、奈良県立図書情報館において「体験セミナー＆無料経営相談会」を開催。

共通 EDI を入口とした中小企業ＤＸ戦略研究会

活動内容	「共通ＥＤＩ推進研究会」は「共通ＥＤＩを入口とした中小企業ＤＸ戦略研究会」に方向転換いたします。 テキストとして日経ＢＰ発行木村岳史著「アカンＤＸ」および日経コンピュータのＤＸ成功事例を精読し、中小企業診断士の立場でＤＸＤＸと叫んでいる中小企業経営者に、「あなたの会社のＤＸはこうなるはず」というコンサルのストーリーを成果物として作成します。この成果物をもって中小企業診断士の提案とすることを研究会の目標とします。 目標に到達するまでに使用する手法は、私が開発してきたＤＴＣＮ手法を使います。この手法は中小企業診断の手法としても使えます。 なお、ＩＴＣ協会では、共通ＥＤＩ推進サポーター制度を開始しており、当研究会主査 渡辺武久は開始直後から参加し、毎回当会の要望を提案し、その内容は活動に反映されました。これにより従来の研究会の目的が達成されたので従来の研究会は終了とします。主査渡辺は引き続き ITC 協会の会合には参加してゆきます。
会員数	５名、活動に参加を希望する会員はいつでも入会していただく
開催頻度	２ヶ月に１回の集合研究、個人作業はテレワークで行う
入会申込み先	主査（代表）：渡辺武久まで　fwkz5706@nifty.com

奈良活性化研究会	
活動内容	会員だけでなく、会員以外の参加も認め、会員の広い知識の向上、会員間、その他の方々との交流関係を深めることを行っています。 　令和５年度は、地元の金融機関の方々を講師にお招きし、金融機関から見た最近の情勢、各金融機関の活動等について教えて頂きました。 　令和６年度は、引続き地元の金融機関様にご登壇頂く他、奈良県弁護士会等の士業の方もご登壇頂き、懇親会も開催して連携を深めていくことを考えています。また、昨今の人手不足に対応するため、奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点様にもご登壇頂く予定です。 　奇数月に開催する事業再生研究会とも連携しながら、少しでもお役に立つように頑張ります。皆様のご参加を心よりお待ちしています。
会員数	約８０名
開催頻度	２カ月～３カ月に１度
入会申込み先	毎回参加者募集を行いますので、その際お申込みいただくか、保延宛メール（honobe@tkcnf.or.jｐ）に連絡ください。 　参加して頂く場合、原則として実費を頂いています、

新入会員のご紹介

ふりがな		いしはら　けんじ
氏名		石原　健二　　生年月日　1989 年 12 月 27 日
連絡先	Tel	090-5667-1829
	Fax	-
	Mail	k.ishihara@kj-consulting.co.jp
勤務先または屋号		KJ コンサルティング株式会社
登録年度		2023 年度
転入または重複支部名		奈良
自己紹介 		【想い】 日本経済を守るためには中小企業や地方の発展が必須であり、そのためには企業へのハンズオン支援が欠かせないと考え、医療経営のコンサルとして 2023 年に奈良で独立しました。今後は地方創生ビジネス等も検討しております。 【職歴】 ①製薬会社の MR（3.5 年） ②M&A コンサルタント（4.5 年） ③病院グループの経営企画と事務長（2 年） ④起業 【得意分野】 ・理念経営 ・収支改善 ・ES 向上 ・M&A 【得意業界】 ・医療介護業界 【ご挨拶】 様々なことにチャレンジしたいので、ざっくばらんな情報交換からさせていただき、皆さまのお役に立てたらと存じます。 34 歳で新米なので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。
特技		料理
趣味		読書、バスケ、ランニング、旅行

ふりがな		うえだ　たかし
氏名		上田　恭史
連絡先	Tel	090-4640-6694
	Fax	
	Mail	
勤務先または屋号		奈良県
登録年度		2023 年（令和 5 年）度
転入または重複支部名		
自己紹介		地元田原本町で両親と妻、娘と暮らしています。 兼業農家の知識、経験を縁に、平成 13 年度に奈良県の農学職（改良普及指導員）として採用。最近の 10 年間は、新規就農や経営改善、国の関連補助金や制度資金に関する業務を主に担当しています。でも、数年ごとの異動のたびに、同じ農業関連ですが行政、教育、研究、普及と、随分違う業務を担当することもしばしばです。 ５年くらい前に、農業経営者に中小企業診断士を派遣する仕事を担当したことが資格取得のきっかけでした。私のような普及員が、診断士と農業者との対話を円滑にする「通訳」として働くために、診断士の仕事を知ろうと思ったのです。 近年は、農業界でも親子間、集落営農組織、産地等で経営継承が課題になっており、継承支援のスキームの検討や実際の支援を行っています。 本会みなさまとお目にかかり、より良い仕事ができるよう自己研鑽を積みたいと考えています。 どうぞよろしくお願いいたします。
特技		郡山の金魚釣り、庭木のせん定、水切り（石投げ）
趣味		週末の居酒屋、娘の弁当づくり、バドミントン

ふりがな		きたじま　まこと
氏名		北島　誠士
連絡先	Tel	090－3504－8984
	Fax	06－6930－3118
	Mail	kitajima0509@yahoo.co.jp
勤務先または屋号		
登録年度		2016 年
転入または重複支部名		大阪府中小企業診断協会
自己紹介 		はじめまして、北島誠士（きたじままこと）と申します。2024 年 1 月、念願の独立開業を果たしました。いい屋号が考えつかず、親から貰った名前が気に入っていることもあり、北島誠士という個人名で開業届を出させて頂きました。 中小企業診断士を目指したきっかけは、私が後を継ぐ予定であった家業の倒産です。家業が倒産し、家を取られてしまった夜、私の住んでいた狭いアパートで、父親と話し合い、「我が家の家業はなくなってしまったけど、他の家業は、長く続けて欲しいし、頑張って欲しい。そういう頑張ってる家業を応援できるような仕事をすれば、我が家の家業を支えて下さった方々に恩返しができるのでは。」そう願って、中小企業診断士としての独立を目指して参りました。 独立当初は、御縁で頂きました仕事に、ひたむきに取りくんで参りたいと思います。ただ、将来は、経験と勉強を積み重ねて、事業再生と事業承継の仕事をメインでできればと考えております。 私の強みは、二点だと思っています。一つは、32 歳で上場企業の事業部を見るようになりましたので、管理職経験が長いこと、二つ目は、メーカー、製造業、サービス業、金融業、物流業、医療機器等、様々な会社で役員という立場から経営を見て参りましたので、経験している業界が広いことだと思っております。 一日でも早く、諸先輩の方々のように、世の中の中小企業に貢献できますよう、自己研鑽してまいりたいと思います。これから、色々と、ご指導賜れましたらと存じます。 よろしくお願い致します。
特技		警戒心が強い野良猫を抱っこできること
趣味		ファスティング、保護猫カフェで遊ぶこと

ふりがな		のぐち　ただひろ
氏名		野口　忠裕
連絡先	Tel	080-5039-5903
	Fax	―
	Mail	0ks7pj03325035h@ezweb.ne.jp
勤務先または屋号		独立行政法人中小企業基盤整備機構
登録年度		2021 年
転入又は重複支部名		大阪府中小企業診断協会（重複）
自己紹介 		はじめまして、2024 年 1 月に入会させて頂きました野口忠裕と申します。 中小企業の街である東大阪市で生まれ育ち、大学卒業後は、メガバンクにて中小企業向けの法人営業を中心に四半世紀以上勤務して参りました。現在は、中小機構近畿本部企業支援課にて中小企業の経営課題解決に向けた伴走支援業務を行っております。 このように、私の経歴においては中小企業との縁が深く、これまでの経験で培った財務分析、金融支援、傾聴力等の強みを活かして、中小企業経営者様のお悩みごとに寄り添って解決できる伴走者として、今後とも臨んで参りたいと考えております。 奈良県では 3 年間の勤務実績がありますが、多くの面においてポテンシャルの高さを感じております。奈良県で頑張っている中小企業の皆さまのお力になれるよう私も精一杯頑張って参ります。どうぞ宜しくお願い致します。
特技		筋トレ、ジョギング
趣味		バイクツーリング、バスフィッシング

ふりがな		むかいたに　まさや
氏名		迎谷　昌哉
連絡先	Tel	090-1247-3935
	Fax	
	Mail	wakakusakeiei@gmail.com
勤務先または屋号		西日本電信電話株式会社
登録年度		2023 年度
転入または重複支部名		大阪府中小企業診断協会
自己紹介		**【ご挨拶】** はじめまして、迎谷昌哉と申します。奈良県生駒市生まれ、現在も生駒市在住の 31 歳です。事業者支援を通して生まれ育った奈良の活性化に貢献したく、この度入会いたしました。 **【経歴】** 奈良高校→神戸大学経済学部卒業。在阪鉄道会社の経理財務部門・経営企画部門にて計 8 年間勤務した後、2023 年 4 月より西日本電信電話（株）の経営企画部門に転じ、M&A を含む出資戦略の検討・案件推進に携わっております。勤務先が副業可能なため、企業内診断士として奈良・大阪を中心に活動しております。 **【得意分野】** DX による業務改善とファイナンス領域です。 ERP（経営管理システム）のグループ展開・刷新 PJ や既存業務への RPA・BI ツールの導入企画・実装といった業務を推進し、IT を活用した業務改善の実績があります。また、本業で培ったアカウンティング/ファイナンス両面における実務経験を生かし、数値に基づいた事業戦略立案・資金計画策定・経理業務改善といった面で事業者様の経営をサポートします。 **【最後に】** 得意とする分野だけでなく、事業継承や中小企業 M&A といった自身が興味のある領域にも積極的に関わり、新たな成長・価値提供に繋げていきたいと考えております。 診断士としては駆け出しの若輩者ではございますが、諸先輩方のご指導も仰ぎながら取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。
特技		真面目にコツコツ取り組むこと
趣味		サウナ巡り、ハンドボール

ふりがな		よこやま　ゆうじ
氏名		横山　有史
連絡先	Tel	090-5463-3966
	Fax	－
	Mail	orions7the7third7@gmai.com
勤務先または屋号		横山技術経営コンサルティング
登録年度		2022 年
転入または重複支部名		大阪府中小企業診断協会（重複）
自己紹介		機械製造業で 35 年間勤務してまいりました。その経験をもとに取得した技術士（機械部門）、品質マネジメントシステム・プリンシパル審査員（IRCA 登録）等を活かし、【経営コンサルタント】×【機械エンジニア】×【品質エンジニア】として独立できればと思っておりますのでよろしくお願い致します。
特技		特にありません
趣味		飛行機を見ること、車を運転すること

編集後記　／　本田秀継

▽ 会報「診断なら」2024 新年号をお届けします。
　原稿をお寄せいただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。
▽ 毎日寒い日が続きます。充分にご自愛ください。

〒630－8217
奈良市橋本町 3－1
きらっ都奈良 3 階 302 号
Tel：0742-20-6688
Fax：0742-20-6788
e-mail：jsmeca27@m3.kcn.ne.jp

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
https://www.nara-shindanshi.jp/